

## 第26回西日本事例発表オンライン研修会 発表概要シート

法人名	株式会社アクティブライフ	施設名	アクティブライフ箕面
発表タイトル	業務改善・ケアの質の向上を目指して		
研究の目的	業務改善・ケアの質の向上		
発表の概要	入居時自立型の介護付き有料老人ホームのアクティブライフ箕面。 自立されていた方が要介護状態になった時、また居室での生活が難しくなった時に、居室ケアスタッフと一時介護居室ケアスタッフとの連携が必須です。 その時の課題に取り組んだ事例です。		
研究方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自立の方で体調管理が必要な方や要介護者が日中過ごされるデイルーム。16時からの業務改善を行った。</li> <li>②居室ケアと一時介護居室で使用するフェイスシートの改善。</li> <li>③一時介護居室利用時の状況についてきめ細かなカンファレンス、情報交換を実施。</li> </ul>		
成果・結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>①入居者個別の課題に沿って手厚く対応でき、安心して過ごして頂ける環境・居場所づくりができた。</li> <li>②居室スタッフから一時介護居室スタッフに、居室での過ごし方や生活スタイル・家族関係などの情報を以前よりも共有することができた。</li> <li>③一時介護居室利用中の状況や関わって気付いた事、その方の普段の様子、医療面の注意事項などを聞き取ることができた。 一時介護居室から居室へ帰る具体的なめどを立てることができた。 帰室前に多職種によるカンファレンスを開催し、スムーズに居室に戻ることもできた。</li> </ul>		
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の取り組みにより、多職種でのミーティングや介護が必要になる方の情報共有の場が増え、介護の質が高まった。</li> <li>・情報共有の場が増え、介護認定者の数が増えた。</li> </ul>		
アピールポイント 伝えたいこと			